

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 秋季大会

24年 9月 5日 時刻9:30

女子 【準決勝】

寝屋川9中	44	$\left[\begin{array}{r} 14-5 \\ 9-11 \\ 10-17 \\ 11-10 \end{array} \right]$	43	枚方4中
-------	----	--	----	------

第1PD	白⑥⑭⑮⑯⑰ 黄④⑤⑥⑦⑨でスタート。白はハーフコートマンツーマン、黄はオールコート2-2-1ゾーンプレスで開始。白は⑰のオフンスリバウンドからのシュートと⑥のドライブ、⑭の3Pで得点を重ねる。黄は良い形をつくるも、なかなかシュートが決まらず、14-5の白リードで1ピリ終了。
第2PD	出だしから黄の2-2-1ゾーンが決まりだし、3連続ゴールでつめる。白はたまたまず、タイムアウト。その後も黄のボールマンプレッシャーに白は苦しむも、⑰のゴール下で得点を重ねる。白⑥と黄④の中心選手が共に3つ目のファールでベンチに下がる。そのまま、得点は動かず、23-16で白リードで前半終了。

第3PD	白、黄とも前半と同じスターティングメンバーで開始。黄の2-2-1を突破し、ノーマークのシュートにもっていくものの、決めきれない。その間に黄は⑦のミドルシュートや④の連続シュートで追い上げる。白は⑰のゴール下で対抗するも3P終了は33-33の同点で最終ピリオドへ。
第4PD	4ピリ開始から白⑮がロング3Pを決めれば、黄の④のゴール下、⑨の3Pで入れ返すなどシーソーゲームが続く。白⑥が残り5分でファールアウトとなり、ボール運びに苦しみ、黄が得点を伸ばす。白は⑯の1対1を中心に得点する。残り3秒で⑦がドライブでファールをもらい、2本目のフリースローを決めるも1点差で白が勝利した。
(戦評/寝屋川三中:森本)	

戦評用紙

平成27年度

北河内地区 秋季大会

2015年 9月 4日 時刻9:30

女子 【準決勝】

東香里	61	{	15- 6 17- 9 7- 5 22-18	}	40	中宮
-----	----	---	---------------------------------	---	----	----

第1PD

東香里④⑤⑥⑦⑧, 中宮④⑤⑥⑧⑨でスタート。黒は⑥速攻で先制し、ディフェンス

でも激しく相手にプレッシャーをかけてリズムをつかもうとする。対する白は、黒のディフェンスのプレッシャーからミスもあったが、④⑥⑧を中心に得点を重ねてペースをつかみ、第1ピリオド15-6、白リードで終了。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑤⑥⑧⑨でスタート。白は⑥⑧の1対1、速攻と得点を重ね、ディ

フェンスでも激しくプレッシャーをかけて、相手のミスを誘う。白は④のジャンプシュート、⑥の3Pとで応戦するも、白のディフェンスを破れず、ペースをつかむことができずに第2ピリオド32-15、白リードで終了。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑤⑥⑧⑨でスタート。白、黒ともにペースをつかめず、一進一退の

攻防が続いた第3ピリオド。黒は差を詰めよう激しくディフェンスでプレッシャーをかけて、ボールを奪うが、なかなかシュートが決まらない。白も④を中心にパスを回し、リズムをつくろうとするが、シュートが決まらず苦しい展開が続く。第3ピリオド39-22で白リードで終了。

第4PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑤⑥⑧⑨でスタート。開始早々、白は④⑤⑥の3連続速攻でペース

をつかみ、オールコートマンツーマンでプレッシャーをかける。黒も⑥3P、⑨ミドルシュートで攻めるが、白のディフェンスのプレッシャーに苦しむ。白、黒ともに最後まで気持ちの入ったプレーだった。白が61-40で勝利し、決勝にコマを進めた。

(戦評/寝屋川一中:三宅)

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 秋季大会

27年9月5日 時刻11:10

男子 【準決勝】

寝屋川三	53	{	13- 4 7- 6 17- 7 16-12	}	29	八雲
------	----	---	---------------------------------	---	----	----

第1PD

白④⑤⑥⑦⑧、赤④⑤⑥⑦⑧でゲームスタート。白④がゲーム開始、速攻から先制点を決める。しかし、両チームとも、ゲームのペースがつかめないまま時間がすぎる。白のシュートが決まり、シュート力で勝った白が13-4でリードし、1PD終了。

第2PD

試合開始から赤は⑧のインサイドプレーからゲームを展開したいが、パスが入らない状況が続く。白は速攻の⑪のコーナーからのシュートや、⑩の積極的なプレーが見られるも、なかなか点に結びつかない。そんな中、赤⑧のインサイドプレーが点に結びつき、前半は20-10で白のリードで2PD終了。

第3PD

白が④⑤⑥⑦⑧とメンバーを戻し、後半スタート。赤は2-1-2のゾーンで守るも、白が落ち着いてギャップを攻め、⑤がローポストからシュートを決める。赤も⑦の速攻など、ゴールを狙うプレーが多くなる。赤⑧のインサイドのプレーも立て続けに得点となり、必死にゴールを狙うも、最後は白⑦のスティールからのシュートが決まり、37-17と白リードで3PD終了。

第4PD

白37-赤17で4PD試合開始。ゲーム開始から両チームとも積極的にシュートへ向かう。赤⑨のドライブ、④の3Pシュートなど、1~3PDよりも得点に結びつくプレーが見られたが、白も④⑤⑧の速攻、⑩のハイポストからのシュートなど、次々と得点し、ゲームは53-29と白チームのリードのまま終了し、白が決勝へと進んだ。

(戦評/寝屋川一中:吉澤)

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 秋季大会

27年9月5日 時刻11:10

男子 【準決勝】

枚方四	49	{	12-4 9-14 15-12 13-13	}	43	桜丘
-----	----	---	--------------------------------	---	----	----

第1PD

スタートは白④⑥⑦⑧⑩、黒④⑤⑥⑦⑧。白はハーフマンツー、黒はハーフのゾーン

ディフェンス。白は⑥⑩のゴール下を中心に攻め、黒は⑤の1対1で対抗する。お互い激しいディフェンスのため、なかなかシュートが決まらない。1PD、12-4で白リード。

第2PD

白④⑤⑥⑧⑩、黒④⑤⑥⑦⑧。白は1PDに続き、インサイド主体で攻めようとするが、

黒が上手く守り、インサイドへのパスが入らない。対する黒は④のドライブと⑤のミドルで攻め、少しずつ主導権をにぎる。前半は21-18、白3点リードで終える。

第3PD

白④⑤⑥⑧⑩、黒④⑤⑥⑦⑧。3PDは前半とは違い、点の取り合いとなる。

白④の3P、⑩のゴール下、ミドルで得点を重ねる。対する黒も激しいディフェンスからの速攻で必死に食い下がる。3PD終わっても36-30、白6点リードで最終PDへ。

第4PD

白④⑥⑦⑧⑩、黒④⑤⑥⑦⑨。追いつきたい黒はオールコートディフェンスで勝負に

でる。⑦のミドルや速攻からの⑤のバスカンなどで、ラスト2分、2点差まで詰めよる。しかし、最後は白が落ち着いて、得点を重ね、49-43で白の勝利。激しいリバウンドとルーズボールが繰り返される好ゲームだった。

(戦評/寝屋川二中:日高)

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 秋季大会

27年9月5日 時刻12:50

女子 【決勝】

東香里	57	{	12- 8 15-12 9- 7 21-10	}	37	寝屋川九
-----	----	---	---------------------------------	---	----	------

第1PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒⑥⑭⑮⑯⑰でスタート。白、黒ともにハーフコートマンツースで開始。

白は⑤のペネトレイトや⑧のインサイドシュートなどペイントゾーンを攻め、得点を重ねる。

黒は、⑥のシュートや⑰のインサイドシュートなどで応戦し、12-8白リードで1ピリ終了。

第2PD

両チームとも、オールコートマンツーマンなど要所でプレッシャーをかけて、リズムを

つくる。白は④⑤など積極的にゴールを攻め、フリースローももらい、得点を重ねる。黒は⑥のペネトレイトや連続スリーポイントシュートや⑰のリバウンドシュートなどで追いついていく。27-20の白リードで2ピリ終了。

第3PD

両チームとも、1ピリのスターティングメンバーでスタート、白はマンツーマン、黒はハーフ

コートの2-1-2ゾーンで開始。白は激しいマンツーマンプレスを仕掛け、黒のミスを誘い、白⑥⑧中心に得点を重ねる。黒は⑭のシュートやゾーンからマンツーマンの変化で仕掛けるが、白の激しいDFに苦しみ、36-27で最終ピリオドへ。

第4PD

4ピリ開始から黒⑮と⑥の連続得点で流れを作り、点差を詰めようとするが、白も⑤④の

ミドルシュートやペネトレイトで対抗する。終盤、白は終始、足を使ったDFでプレッシャーをかけ、速攻につなげ、得点を重ねていく。黒も⑮⑰の積極的なオフェンスで追いつこうとするが、白の落ち着いた試合運びで57-37で白が勝利した。

(戦評/住道中:廣瀬)

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 秋季大会

27年9月5日 時刻14:30

男子 【決勝】

寝屋川三 66 [10-9
21-8
14-6
21-23] 46 枚方四

第1PD

白④⑤⑥⑦⑧、紺④⑥⑦⑧⑩。両チームとも、マンツーマンDefでスタート。

白のスピードに対し、紺は高さで対抗。お互いシュートが決めきれず、流れに乗れない展開に。

10-9で寝屋川三中が1点リード。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑧、紺④⑥⑦⑧⑩。白のミドルレンジのシュート、ドライブからの合わせが

決まりだしリードを広げる。紺はリバウンド、ゴール下で粘るが、決めきれない。

31-17で寝屋川三中が14点リードで折り返す。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑧、紺④⑦⑧⑩⑪。紺は足が止まりはじめ、白のDefに引っかかり

点差が開きだした。紺は持ち味の高さが活かせず、無理なシュートが増えてしまった。45-23で

リードが広げられる。

第4PD

白④⑤⑥⑦⑩、紺④⑥⑦⑧⑩。両チームとも、最後の力をふりしぼりゴールを

狙った。走力やシュート力が勝る寝屋川三中の勢いを止めることができずタイムアップ。

66-46で寝屋川三中が勝利を飾った。

(戦評/枚方四中:仙波)

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 秋季大会

27年9月5日 時刻14:30

男子 【三位決定戦】

八雲

31

6-16
8-15
11-11
6-6

48

桜丘

第1PD

白④⑤⑦⑧⑨、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。両チームともにオールコートマンツースでDF開始。

序盤、黒⑦や⑥の3ポイントで有利に進める。中盤、黒は白チームのパスカットからの速攻で攻める。

白は⑧にボールを集めるもなかなかシュートが入らない。黒のペースのまま、6-16で1ピリ終了。

第2PD

白はハーフコートマンツース、黒はオールコートマンツースで開始。1ピリで入らなかった

白⑧のシュートが決まり始める。しかし、黒は⑥を中心にジャンプシュートや3ポイントで流れをつくり、

依然として、白チームのパスカットからの速攻で攻める。14-31で2ピリ終了。

第3PD

白、黒ともにスターティングメンバーで開始。白はゴール下で⑧にボールを集め、フリー

スローやジャンプシュートで得点を決める。黒は中盤2-1-2ゾーンに切り替え、DFをする。

両チームともよく走り、動きのある展開になるが、互いに攻めきれず、25-42で3ピリ終了。

第4PD

4ピリ開始1分後、白のDFにはさまれながらも黒の⑩がシュートを決め、流れを

変える。白はインサイド、アウトサイドのシュートを打つもなかなか決まらない。両チームともよく守り、

ロースコアのピリオドに。終盤白のシュートが決まり出すも31-48で4ピリ終了。黒の勝利で終わる。

(戦評/諸福中:亀村)